民生委員

部 会 長 副部会長 生活福祉部会 若い人に期待 渡音内草神近鈴大石 邊部田次取藤木見川 み はる 苗

天野会長の話

社会奉仕の精神で社会福祉 る。若い引き受け手を期待 の増進に努めている。 委員の定年は75歳であ 民生委員の数は41人で、

出ごろの活動

苦労話は

している。

隣人などと情報の共有 齢者の対応に苦労して が望ましい。 いる。区長、民生委員、 災害時の1人暮らし高

年間計画に従って実

の精神で実施している。 施しているが、社会奉仕 研修会は

施した。 に認知症の講習会を実 月に普通救命講習、8月 生活福祉部会では、 7



広報委員との座談会

使命感は

を必要とする人のため に尽力すること。 社会奉仕の精神で助け

> れ、喜んでいただける 自由な方から頼りにさ

境づくり。 不公平のない社会・ 環

政との橋渡し、連絡調整。 、の声掛け、相談。 地域での子どもや老人 福祉ニーズの把握と行

ミニュケーションを図る。 自分を高め見識を広め 地域行事への参加でコ

奉仕活動は

の郷」「つつじヶ丘」で奉 養護老人ホーム「まどか 仕作業を実施している。 毎月第3水曜日に特別

活動の喜び

と元気や感動が得られ

児童・生徒と触れ合う

民生委員のこれから

参加者

《敬称略》

長

和

彦

ケートをいただきました。 からご意見を伺い、アン 委員生活福祉部会の皆さん

(以下民生委員という。)

今回は、民生委員・児童

生委員である。地域の役地域の福祉専門は、民 の場が必要となってく 員との交流・意見交換

行政との橋渡し

りがとう。」と言われる。

高齢者の方、身体の

訪問などで、笑顔で「あ

わかる。

直接、子どもの様子が

保育園・小中学校では、

住民の生の声を

行政に望むこと 合併問題を住民目線で

知りたい。

公平のない行政を。 住民と直接に接し、 各種の手当を含め、 生 不

病院のネットワーク化 の声を聞く行政を。 総合病院の設置。医師・

ट 議会だより ●平成 24 年 10 月 25 日

応があるとき。

児童生徒から元気な反

交通指導、防犯活動で

子どもから元気を

報公開を。

議会への要望

質疑応答は的確に

福祉の増進

は年代を問わず興味があ あい・らぶ・マイタウン」 ポート、住民の声を聞く、 議会だよりの「委員会レ 、情報保護の中で苦労して

や過去の議員との時事放談 各学区・区単位の連載特集 特色のある記事として、

を期待する。

小澤部会長の話

各委員は、守秘義務、 各地区の記事を特集で

個

ざし粘り強い前進を。 地域の生の声を。

度、体制づくりを。 快適なまちづくりをめ 福祉ニーズの把握と制

見学の設営と感想文掲 小中学生の役場・議場

域全体の問題点を的確 議会の質疑応答は、地

など各委員のご意見 議会だよりの感想

次のように編集していま

議員が書き、

答弁原稿

質問原稿は、質問した

読みやすいページづくり

般質問のページは、

家庭で読める広報誌を

整理したほうがよい。 町の広報との重複は、 カラー印刷で、読む気

になれるが言葉が難し

難しい漢字がある。 家族が一緒に行政を話

合えるクイズを提案。

は大きく漢字にはふり すぎない編集を。活字 多色すぎ、広報誌化し

社会福祉法人 寿幸会

向きな政策協議を。

住民にわかりやすい

情

局的に同じ。具体的で前

議員のビジョンは、大

ので情報は早い方がよ インターネット時代な

を。子供からみた意見学校や病院への配布 も面白い。

護などに携わる人と行政教育・医療・福祉・介

いまちづくり。

住みやすく安全で楽し

との連絡・仲介を。



つつじヶ丘の草刈り作業

議会広報委員の

コメント

あるとよい。

般質問の結果報告が

被害想定のデータを。

災害規模に応じた町

女性の声をきくよう

つつじヶ丘入所者の衣類を繕う

います。 は広報委員がまとめ 使い方にも苦労して みやすい工夫に努めて や空白のとり方など読 に抑えています。写真 全体の編集では、 文字数は800字以

ふりがなが誤りでした。お詫 イタウン」の羽田朱李さんの お詫びと訂正 145号 あい・らぶ・マ

議会だより

びと訂正申し上げます。